

高知県人会土佐祭り開催

非日系中心に感染対策徹底

「半年ぶりにコスプレした」

【既報関連】ブラジル高知県人会(片山アルナルド会長)と「高知県人会土佐祭り第2弾」を12日に開催した。直前まで市役所から許可が降りず、粘り強い交渉をした結果、開催にこぎつけた。



鏡開き



コスプレして参加した皆さん(真ん中がアーティストさん)

「既報関連」ブラジル高知県人会(片山アルナルド会長)と「高知県人会土佐祭り第2弾」を12日に開催した。直前まで市役所から許可が降りず、粘り強い交渉をした結果、開催にこぎつけた。

片山会長は「今年コロナで開催が危ぶまれてきたが、感染対策を徹底して開くことができた。イベントを初めとする多くの方に支えられたおかげ。本当にありがとうございます。」と感謝した。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

ニッケイ新聞を応援する会発足

代表は矢野さん、寄付呼びかけ

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。



「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「高知県人会土佐祭り第2弾」は、高知県人会主催のイベントで、高知市内の会場で行われた。当日は多くの来場者があり、盛り上がりを見せた。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

「ニッケイ新聞」を応援する会が発足した。代表は矢野敬崇さん。この会は、ニッケイ新聞の発展と普及を目的として、読者の皆様から寄付を募集する。寄付金は、紙面の拡大やデジタル版の充実などに活用される。

Dr. MONICA Y. MORISHITA
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura
大学院で針灸学を専攻いたしました
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai)
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp"
E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

就労者募集!
【職種】電子部品
【条件】経験、日本語不要
【特典】航空券、ビザ、送迎費用不要
【年齢】男性45才、女性40才(経験者は相談可)(夫婦可)
【ASP人材情報センター】
住所: Rua dos Estudantes, 15-6° andar - Sala 61 - Liberdade - São Paulo - CEP: 01505-001
E-mail: asp.rh@hotmail.com
電話: 011-3277-1121 / 94851-6952 (WhatsApp)

死亡通知並びに厚誼御礼
夫 中野 晃治 (八十四歳) 儀
去る十二月十日午前十一時、サンパウロ市サンタクルス病院にて永眠いたしました。葬儀は翌十一日、ピラウゼーラ斎場にて荼毘に伏し家族のみで相済ませました。ここに故人が生前中賜りました厚誼に心より御礼申し上げます。
高四十九日法要につきましては昨今の世情を鑑み、左記に記しますようにオンラインにて行いますことをお知らせいたします。
二〇二十年十二月二十三日
妻 中野 明美
子供、孫一同

SHINNENKAI 2021
OSECHI RYOURI
おせち料理
PRIMEIRA REFEIÇÃO ESPECIAL DO ANO
Com 15 preparações para atrair os melhores auspícios para 2021
Montado em caixa charco e embalado em tecido ao estilo tradicional
Valor: 255,00
Serviço de entrega em São Paulo - SP
Entrega gratuita para São Paulo - SP
Pedidos até dia 29/12/2020
Estimativa de entrega: 31 de dezembro às 18h

小説 クリスト・レイ
中島宏
(98)

ニッケイ俳壇

(1091)

伊那 宏 選

田 幹夫

友遊り

青天や花散ることく友遊り
九十の日のた詠みて春の行く
病葉や予期せぬ詠報に柳哭す
またの世に会える別れや花の雲
春光やお前は生きよと友の声

サンバウロ

「さきに逝かれた大浦文雄氏は作者の無二の親友であられた。齢共に九十代半ば。身内とはまた違う強い心情、絆で結ばれていたのである。このことは容易に察せられる。三句目「柳哭す」は作者の偽らぬ心情の発露である。「コロナウイルス」の時期だけは通り抜けたものだ。人生最後の儀式が「寂しいのはいかに」と詠まれ、そのウィルスに斃れた大浦氏の無念の死を無駄にしないために、作者の更なる「長命を祈るや切」(高)大浦氏は、当俳壇のわが拙評に対して「ねに敵しい目をお寄せ下さった人であった」

サンバウロ

人道雲の深き影けり
「こんこんと湧き上がる人道雲。紺碧の夏空に挑むがごとく膨れ上がってゆく雲の峰の勇壮さを見事に活写された。(空の深さ)」の措辞はまさにこの句の「深さ」そのものとなり、三世俳人である作者の並々ならぬ精進と、力量の確かさを垣間見ることが出来る。句とた。パラ(ペン)!

サンバウロ

ユキ桂山欠け俳諧の年惜しむ
墓参る墓碑に刻める俱々 処
獄舎解錠片陸乳母車
「獄舎」と「乳母車」それが偶然の取り合わせであるとは考えにくい。ある意味獄舎は人生の末路にあるもの。それに対して乳母車(その中には当然新生児がいる)は人生の出発点にある。両者を繋ぐのは長い解錠片(片陸)。その片陸をゆくりと進む乳母車。片陸を混沌とした世相に見立てると何やらとも暗示的だ。作者にこういった意図があるにしろなかつたにしろ、出来上がった俳句は別の意味を持って一人歩きを始める。同じように「乳母車」を主題にして詠んだ日本句に、「乳母車夏の怒涛によこむきに」という名句がある。作者は明治生まれの橋本多佳子。こちらも主題の強さが際立つ点共通している。

サンバウロ

同窓会下は吾のみ心太
梅干して心故郷にあることし (梅の産地和歌山)
「塩漬けにした梅を天日に干して、ふと故郷和歌山に思いを馳せる。かつてそうして梅を干した思い出は年を経ても薄らぐことはない。ブラジルに梅が導入されたのは戦後もしばらく経ってからである。種類は「台湾梅」だったが、梅に飢えていた同胞の大歓迎を受けた。サンバウロ州を中心にたまたま栽培が増えた。しばらくは需要供給の良好なバランスが続いたが、次第に生産過剰となって今ではこんまりと庭先栽培のみに。加えて最大の消費者移民二世の激減に伴って梅アイパーもつ

サンバウロ

いに過去のものに。輸入梅干が自由に手に入る。今、自家製の梅干を作られる人が増えているのだと知って、懐かしくも嬉しうしいかられた。孫と娘に語り何となく年迎へて投票を済ませし安堵冷やメテ新家聖樹も派手に早々と

サンバウロ

一斉に咲く露草(笑顔向け)
はかどらぬ手作用見はた暑し
夏の夜の短き眠り夢も見えず
わくら葉を散らす風あり雨兆す
緑さす公園(マスタ)の顔ばかり

サンバウロ

「戦前移民がこの地を「終の地」と決めるまでには、多くの犠牲と時間が必要であった。最後には帰国」という選択を残しながら、敗戦、そして子らの成長と共に故郷への未練はいつの間にか断ち消えて、この国の上になる覚悟が生まれたのである。多くの俳人によって詠まれ続けたこのテーマ、戦後移民にとっても大同小異、生涯を賭したそれは、古くから新しいテーマなのである。今なお、冷やけつきながら胸にこみ上げてくる切実な情感なのだ。

富岡 絹子
「体中のどこも直射日光を遮ることはできず、手甲だけは隠す術もなく無防備になって仕舞う。作者は鉢物栽培に従事しているお人とうかがえる。指輪も「ニキア」も無縁な仕事。しかしそれを気にすることもない気心がこの句から汲み取れる。自然の中に生きるこのブライドが自ら歩み出ている句であり、良い物を育ててゆくことをよく知っている手である。

井上 人栄

伊藤みち子

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

林 とみ代

鈴木 文子

大槻 京子

佐藤けい子

田中美智子

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

富岡 絹子
「体中のどこも直射日光を遮ることはできず、手甲だけは隠す術もなく無防備になって仕舞う。作者は鉢物栽培に従事しているお人とうかがえる。指輪も「ニキア」も無縁な仕事。しかしそれを気にすることもない気心がこの句から汲み取れる。自然の中に生きるこのブライドが自ら歩み出ている句であり、良い物を育ててゆくことをよく知っている手である。

井上 人栄

伊藤みち子

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

林 とみ代

鈴木 文子

大槻 京子

佐藤けい子

田中美智子

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

富岡 絹子
「体中のどこも直射日光を遮ることはできず、手甲だけは隠す術もなく無防備になって仕舞う。作者は鉢物栽培に従事しているお人とうかがえる。指輪も「ニキア」も無縁な仕事。しかしそれを気にすることもない気心がこの句から汲み取れる。自然の中に生きるこのブライドが自ら歩み出ている句であり、良い物を育ててゆくことをよく知っている手である。

井上 人栄

伊藤みち子

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

林 とみ代

鈴木 文子

大槻 京子

佐藤けい子

田中美智子

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

富岡 絹子
「体中のどこも直射日光を遮ることはできず、手甲だけは隠す術もなく無防備になって仕舞う。作者は鉢物栽培に従事しているお人とうかがえる。指輪も「ニキア」も無縁な仕事。しかしそれを気にすることもない気心がこの句から汲み取れる。自然の中に生きるこのブライドが自ら歩み出ている句であり、良い物を育ててゆくことをよく知っている手である。

井上 人栄

伊藤みち子

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

林 とみ代

鈴木 文子

大槻 京子

佐藤けい子

田中美智子

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

富岡 絹子
「体中のどこも直射日光を遮ることはできず、手甲だけは隠す術もなく無防備になって仕舞う。作者は鉢物栽培に従事しているお人とうかがえる。指輪も「ニキア」も無縁な仕事。しかしそれを気にすることもない気心がこの句から汲み取れる。自然の中に生きるこのブライドが自ら歩み出ている句であり、良い物を育ててゆくことをよく知っている手である。

井上 人栄

伊藤みち子

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

林 とみ代

鈴木 文子

大槻 京子

佐藤けい子

田中美智子

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

富岡 絹子
「体中のどこも直射日光を遮ることはできず、手甲だけは隠す術もなく無防備になって仕舞う。作者は鉢物栽培に従事しているお人とうかがえる。指輪も「ニキア」も無縁な仕事。しかしそれを気にすることもない気心がこの句から汲み取れる。自然の中に生きるこのブライドが自ら歩み出ている句であり、良い物を育ててゆくことをよく知っている手である。

井上 人栄

伊藤みち子

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

林 とみ代

鈴木 文子

大槻 京子

佐藤けい子

田中美智子

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

富岡 絹子
「体中のどこも直射日光を遮ることはできず、手甲だけは隠す術もなく無防備になって仕舞う。作者は鉢物栽培に従事しているお人とうかがえる。指輪も「ニキア」も無縁な仕事。しかしそれを気にすることもない気心がこの句から汲み取れる。自然の中に生きるこのブライドが自ら歩み出ている句であり、良い物を育ててゆくことをよく知っている手である。

井上 人栄

伊藤みち子

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

林 とみ代

鈴木 文子

大槻 京子

佐藤けい子

田中美智子

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

森 りつ子

浦野マルガリータ

西田はるの

山田はるの

富岡 絹子
「体中のどこも直射日光を遮ることはできず、手甲だけは隠す術もなく無防備になって仕舞う。作者は鉢物栽培に従事しているお人とうかがえる。指輪も「ニキア」も無縁な仕事。しかしそれを気にすることもない気心がこの句から汲み取れる。自然の中に生きるこのブライドが自ら歩み出ている句であり、良い物を育ててゆくことをよく知っている手である。

井上 人栄

伊藤みち子

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

ニッケイ新聞／ニッパク新聞を応援する会

Grupo de Apoio para Jornal Nikkey / Jornal Nippak

私達はニッケイ新聞社を応援します

Coordenadores

- NORITAKA YANO (Sanwey Ind.Containers Ltda.)
- HATIRO SHIMOMOTO (Organização King de Contabilidade)
- RENATO ISHIKAWA (Hospital Santa Cruz)
- TETSUHITO AMANO

APOIADORES

Soc. Bras. de Cultura Japonesa e de Assistência Social (BUNKYO)
 Fed. das Associações e Províncias do Japão no Brasil (KENREN)
 Soc. Bras. e Japonesa de Beneficência Sta. Cruz (HOSPSTA STA. CRUZ)
 Sociedade Beneficente Casa da Esperança (KIBO-NO-IE)
 Associação Harmonia de Educação e Cultura
 Associação de Ikebana do Brasil
 Federação dos Clubes Nipo-Brasileiros de Anciões do Brasil
 Centro de Informação e Apoio ao Trabalhador no Exterior (CIATE)
 União Cultural e Esportiva São Paulo Norte
 Associação Brasileira dos Ex-Bolsistas Gaimusho Kenshusei
 Instituto Brasil-Japão de Integração Cultural e Social
 Federação das Escolas Budistas do Brasil
 Associação Brasil-Japão de Pesquisadores (SBPN)
 Associação Furusato Soosei do Brasil
 Câmara Junior Brasil-Japão (JCI)
 União das Entidades Nipo-Brasileiras de Santo Andre
 Fundação Kunito Miyasaka
 Emporio Koga

Beneficência Nipo-Brasileira de São Paulo (ENKYO)
 Aliança Cultural Brasil-Japão
 Assistência Social Dom José Gaspar (IKOI-NO-SONO)
 Associação Peó-Excepcionais (KODOMO-NO-SONO)
 Centro de Chado Urassenke do Brasil
 Nippon Country Club
 Cotia Seinen Renraku Kyogukai
 Associação Cultural e Assistencial da Liberdade (ACAL)
 Associação Cultural e Esportiva Piratininga
 Associação dos Bolsistas da Jica (ABJICA)
 Centro Brasileiro de Língua Japonesa (CBLJ)
 Associação Beneficente Feminina Esperança
 Cooperativa Central Agrícola e de Colonização do Brasil (NOTAKYO)
 Associação Nikkey de Golfe do Brasil
 Associação Brasileira de Ex-Bolsistas no Japão (ASEBEX)
 Federação de Sakura e Ipê do Brasil
 Associação Okinawa Kenjin do Brasil
 Associação dos Poetas de Ribeirão Pires

APOIADORES

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> - AKEO YOGUI (Enkyo) - AKIRA IYODA - AURELIO NOMURA (Vereador de São Paulo) - ROBERTO NISHIO (Fundação Kunito Miyasaka) - GEORGE HATO (Vereador de São Paulo) - KIYOSHI HARADA (Harada Advogados & Assoc.) - HELIO KOMAGATA - WAGNER SUZUKI (Construtora Hoss) - YASUO YAMADA (Kenren) - HELIO KUMAGATA - YOSHIHARU KIKUCHI - TADAYOSHI WADA (Colegio Harmonia de Educação e Cultura) - JOH MABE - JUN OKUHARA - RODRIGO HAYASHI GOULART (Vereador de SP) - KENICHI KANEKO - TAKUJI OKUBO - TADAAKI HIROSE - YOSHIKAZU MURAKAMI - SHIGEKI MATSUMURA - SUEO KANAMORI - AKIYO SUGAHARA SUGO - TAKASHI KAMISHIGE - YOSHITAKA FUWA - WARARU HIRANOBE - YOSHIO OSHIRO - SHAKUDA MIYOKO | <ul style="list-style-type: none"> - AKIO OGAWA - ANDRE KOROSUE - SHOEI AEIMA (Arima & Kanegae Corret. de Seguros) - MASARU SUSAKI (Fundação Japão) - KAZUNORI HIRANO - FELICIA HARADA - MARIO SATO (Restaurante Kidoairaku) - HIROFUMI IKESAKI (Acal) - NELSON WAI (Brastela) - PAULO SAITA (Enkyo) - FUJIYOSHI HIRATA (Câmara de Comércio e Indústria Japonesa do Brasil) - KATSUhide ITAGAKI (Panamedical Sistemas Ltda) - KENJI IRYO - KOJI SAKAGUCHI - HATIRO NAGAYAMA - TADAYOSHI HANADA - KODO TANAKA - KOJI FUKASAWA - MARIO MASAO HOSOKAWA - ELISABETE MITIE FUKUDA - SHOUKO MURAKAMI - OSCAR TOYOTA - KUMIO UMEDA - SHINSAKU MORIMOTO - MASAKOSHI AKAGUI - OYA YUKISADA - KIMIE IBUSUKI - VALTER SASAKI | <ul style="list-style-type: none"> - AKIRA OBARA - ANTONIO TERUO KATO - CHIEKO AOKI (Blue Tree Hotels) - CLAUDIO KURITA (Japan House) - CLAUDIO AOYAMA (Aoyama Advogados e Associados) - NELSON MIYAHARA (MKMA Advogados) - JULIO KOSAKA (Brasil Sokagakkai-BSGI) - HISAE TAKAMATSU - ERIC KLUG (Japan House) - TÉRIO UEHARA - MASAHIRO ONO - MISAO ADACHI - MARCELO ASAMURA (JCI-BR-JP) - JOE HIRATA - KENJI ISHII - OLÍVIO SAWASATO - KIYOTOSHI SHIRAHAMA - KAZUNORI YASUNAGA - MARCELO MATOS ARAUJO - EIZO FERNANDO ONO - KENICHI IWATA - SÉRGIO FONSECA GUIMARÃES - MARCELO HIDESHIMA - KAREN ITO - D. YUKO - KEI KUROGI - PAULO YOSHINOBU HAYASHI - FILHO DO OYA - SHISAKU SHIMIZU - IKEBARA AKIKO - SHIGUEKO GUSHIKEN |
|---|---|--|

ニッケイ新聞／ホームページ=www.nikkeishimbun.jp Facebook: www.facebook.com/NikkeiShimbun/Jornal Nippak = www.jnippak.com.br

TEL: (11) 3340-6060

弊社支援の銀行口座を開設致しました
口座番号は右記の通りですBANCO DO BRASIL = Agência: 300-X, Conta Corrente: 135000-5
Nikkei/Nippak Cobrança EIRELI CNPJ: 34256.5121-0001-35

